

# 1925年6月の台湾における芸能活動

—始政三十年記念に関する新聞記事を中心に—

長 嶺 亮 子

## はじめに

1895年4月17日に調印された日清講和条約、いわゆる「下関条約」によって、台湾は清から日本へと割譲され、同年6月17日の始政式より正式に日本による台湾統治が始まった。総督府は台湾都市部の道路や上下水道といったインフラや教育機関の整備のほか、新聞やラジオといったメディアの普及も積極的に行った。政府による台湾の「近代化」は、日本への同化政策であるとともに、統治後期には「南進の礎石」としての意味合いを強めていった<sup>1</sup>。

1925年6月は日本による台湾統治が開始して30年目にあたり、その成果を披露すべく台北で「始政三十年記念展覧会」が開催されたほか、「始政三十年記念」と銘打った様々な行事が台湾各地で挙行され、その一つとして台湾で初めてラジオ放送が行われた。この台湾初のラジオ放送は「始政三十年記念展覧会」会期中の10日間という期間限定の放送であった。そのプログラムの中心を音楽が成しており、そのジャンルは洋楽・邦楽・台湾音楽と多岐にわたっていた。本稿ではラジオという新しい聴覚メディアが台湾に登場した1925年6月という時間を軸とし、当時どのような音楽が台湾が享受されていたのかを、新聞に掲載された記事をもとに整理してみたいと思う。なお、本稿は当時、主に台湾中南部で購買されていたと考えられる『台南新報』を主要な資料源とする。その理由は、中心地である台北に加え、地方における状況も把握するためである。

## 1. 日本統治期の台湾における芸能

日本統治期の台湾で行われていた芸能は、中華系の芸能、日本の芸能、西洋音楽、そして原住民の芸能に分けられる。本稿の対象である1926年について述べる前に、これらについて簡単にまとめておきたい。

### 1-1. 中華系芸能

漢族が中国大陸から台湾へ本格的な移住を始めたのは17世紀頃で、とくに鄭成功が率いる「反清復明」を掲げる軍勢とともに渡って来たといわれる。移住者の出身地は主に、対岸の福建省や広東省であったので、人の移動に伴って台湾に伝わった習俗や芸能もこれらの地域を源とするものが多い。ジャンルを挙げると、孔子廟の典礼音楽である雅楽、北管や南管といった器楽や民間歌謡、客家採茶戯、及びそれらが基になり台湾で劇様式を整えた歌仔戯などである。また、日本の台湾統治が始まる以前から福建や上海などから興行に来ていた福州戯や京劇などもあった。

### 1-2. 日本芸能

台湾における日本の芸能は、台湾統治が始まった1895年以降である。1896年には早くも日本式劇場が建てられ、歌舞伎や能などが上演されていた。また遊郭で芸妓によって商業的に日本舞踊や三味線などが行われていたほか、邦楽楽器や邦楽レコードの販売広告や愛好家による演奏会の記事などが新聞紙面に確認できるので、在日日本人の間でも日本芸能が日常的に享受されていたことがわかる。ただし、これらを台湾人がどの程度実践していたかは、現在のところ不明である。

### 1-3. 西洋音楽

台湾における西洋音楽史は、欧州国からの直接的導入と日本からの間接的導入の二段階に分かれる。前者の直接的導入はさらに二つの時期に分けることができ、早くは17世紀初頭、台湾を統治したオランダとスペインが伝導したキリスト教の讃美歌である。ただしこれはあくまでも神を賛美するための手段であって、信者への西洋音楽教育を目的としたわけではなかった。またオランダとスペインによる台湾統治は40年足らずで、台湾が鄭成功によって「奪回」された後はキリスト教の信仰も禁止されたため、そこに付随する音楽も定着にはいたらなかった。一方、1858年の天津条約以降には欧米人によるキリスト教布教が再び可能となったが、この時は教会活動として西洋音楽を行うだけでなく、西洋式の学校を設立しそこで識譜や声楽といった音楽教育も授業の一環として行われるようになった。例えば、カナダ人宣教師のジョージ・L・マッケイ (George Leslie Mackay :

1844年3月21日～1901年6月2日) によって創立された理学堂 (別名、牛津学堂 : Tamsui Oxford College) が挙げられる。

1895年に日本による台湾統治が開始して直後、学校教育政策として音楽教育も始まった。1896年から1898年にかけて台湾総督府が実施した「国語伝習所」では既に、日本語や漢文、算数、地理、歴史などのほかに体操や唱歌も行われた。ただし、「国語伝習所」の名称が示すように日本語普及が目的であるため、この時点では音楽を学ぶ独立した科目ではなかった。1898年に公学校、すなわち台湾人子弟が通う義務教育機関が成立すると唱歌が一つの科目として配置されるようになり、1915年以降には総督府が刊行した音楽の教科書『公学校唱歌集』等が用いられるようになった。1906年には、初の公費による台湾人留学生を東京音楽学校に派遣している。

#### 1-4. 原住民の芸能

原住民とはすなわち、漢民族が中国大陸より渡ってくる以前から台湾に居住する先住民族である。日本統治期には、原住民を主に台湾西部に居住する漢化が著しい「平埔蕃」または「平埔族」と、東部に居住しあまり漢化の進んでいない「生蕃」または「高砂族」に大別し、それはさらに言語体系や風俗習慣に依って、アミ族やクバラン族など幾つかのグループに区分された。原住民族の多くは各々に独特な歌唱や踊りがあるが、集落における豊年祭などの伝統的な祭祀儀礼に付随して自ら行うものであり、都市部で漢族や日本人が商業的に視聴して楽しむ機会は日常的ではなかったと考えられる。1930年代後半以降には、原住民音楽や舞踊のレコード<sup>2</sup>や記録映画<sup>3</sup>が制作されているが、これらもまた研究や国策宣伝が目的であり商業的に流通することはなかっただろう。

## 2. 1920年代の台湾の社会状況

日本による統治が始まって30年近くが経過した1920年代の台湾では、「内地」(日本本土)の制度をそのまま台湾でも適用させる「内地延長主義」による同化政策が進められて、経済的・文化的にそれなりに成熟した時期を迎えていた。始政三十年を記念して台湾総督府が刊行した『最近の台湾』には、前年までの台湾の宗教・教育・衛生・交通と通信・土木・産業・貿易と物価及び財政・専売・社

会事業・研究調査機関が統計数なども用いながらまとめられていて、さらに附録として都市と名所・旧蹟も挙げられている。その内容についてはここでは簡単な提示に留めるが、例えば交通インフラ整備の状況として、鉄道の項で「清領時代は基隆より新竹に至る六十二里の鉄道を有したりとしも、殆んど其の用をなさず。今日の鉄道は全く領台以後の新建設といふも不可なかるべきが。」(台湾総督府1925:10)と日本の台湾統治後の成果を雄弁に紹介する。また、製糖業をはじめとする特に農作物の生産率の高さを示した後、台湾の財政状況が「明治三十八年度よりは、全く母国よりの補給を待たずして独立し得」(前掲:20)、また「内地に於て消費する砂糖に対する消費税の全部を挙げて提供する等、母国財政に多大な貢献を成し得」(前掲:同)ていることをアピールする。加えて、台湾で教育政策を開始した直後の明治31年の学校数および就学児童生徒数を現在(大正13年)のそれと比較し、如何に日本人と台湾人、原住民の別なく教育政策を進め成果を収めているかを示す。

そのような社会的状況のなかで開催されたのが始政三十年記念展覧会で、台湾の主要な輸出品でもある農作物や塩、タバコ、酒、樟脳といった政府が専売する商品の陳列のほか、通信事業や鉄道、教育などを紹介し、台湾統治の成果を台湾ひいては日本本土にアピールしたのである。

### 3. 始政三十年記念展覧会

始政三十年記念展覧会は1925年6月17日から26日の10日間の日程で、台北の新公園(現在の二二八公園)内にある博物館をメイン会場に繰り広げられた。当初は26日までの予定であったが、展示会場によっては急きょ二日間延長するほどの盛況であった。展覧会期間中は、様々なアトラクションも準備されていた。催物の会場と内容は次の通りである。

市内各所...活動写真、ラヂオ放送

新公園音楽堂...音楽演奏

新公園...17日午後7時より教課活動写真と音楽演奏、7時半より仕掛煙火、8時半より内地人芸妓手踊、9時半より西門会少女踊と若衆踊

18日午後7時半より内地人芸妓手踊、8時半より西門会少女踊と若衆

## 踊

19日午後7時半より内地人芸妓手踊、8時半より宝探し

20日午後7時半～10時まで聯合売出し会による市川春花連の娘芝居、  
午後10時より台北茶商公会寄席の南管絃楽、活動写真、音楽演奏

21日午後7時半～10時まで聯合売出し会による市川春花連の娘芝居、  
午後10時より台北茶商公会寄席の南管絃楽

22日午後7時半～10時まで聯合売出し会による市川春花連の娘芝居、  
午後10時より台北茶商公会寄席の南管絃楽

23日午後7時～10時まで聯合商公会の市川春花連娘芝居、10時より大  
稲埕芸妓の音楽

24日午後6時～7時まで萬華紳士連の什音、7時より支那芝居(正音)、  
9時より大稲埕萬華芸妓音楽、活動写真

25日午後6時～7時まで萬華紳士連の什音、7時より支那芝居、9時  
より大稲埕萬華芸妓音楽

26日午後7時より支那芝居、9時より大稲埕芸妓音楽、夜に花火

27日午後7時～9時まで支那芝居、9時～10時まで大稲埕芸妓音楽

28日午後7時～9時まで1：三曲合奏 2：台北州活動写真、9時～  
10時まで大稲埕芸妓音楽

植物園...17日煙火

18日子弟戯

20日午後8時より仕掛煙火

23日午後7時より宝探し(雨天により26日に延期)

媽祖行列...20日午後1時より大稲埕慈聖宮まで、夜に煙火と演戯

23日午後より萬華龍山寺まで(音楽団・竹馬・陣頭・扮装)

淡水河...18日煙火、ライトアップ、扒龍船(～21日)

大稲埕...17日子弟戯

18日演戯

21日演戯

22日演戯

26日活動写真、本島戯

萬華...17日子弟戲

21日演戲

22日演戲

23日演戲

26日活動写真、本島戲

これら催物を分類すると、日本芸能は芸妓手踊り・少女踊・若衆踊・娘芝居・三曲、中華系芸能は南管絃楽・支那芝居（正音）・什音・竹馬・陣頭・子弟戲・本島戲、西洋音楽は音楽堂での音楽演奏と媽祖行列中の音楽団、その他が活動写真・ラジオ放送・仕掛煙火・宝探し・扮装、である。また芸妓音楽は、日本と中華系どちらの音楽とも捉える事ができるが、新聞記事からは残念ながら詳しい事はわからない。

興味深いのが20日と23日に行われる媽祖行列である。媽祖行列は、本来ならば媽祖の生誕日とされる旧暦の3月23日に行われるものである。しかし、1925年6月20日と23日は、それぞれ旧暦の4月29日と5月3日にあたり、本来の挙行日とは異なることから、この媽祖行列があくまでも始政三十年記念展覧会の「催物」として行われたことがわかる。媽祖行列を展覧会の「催物」として行う理由は、新聞紙上では明らかにされていない。しかし、その理由としては、台湾の慣習で祝祭日には陣頭などとよばれる行列で場を清めると共に盛り上げることを政府が認識していたこと、そして、実は始政三十年記念展覧会のメイン会場となっている新公園が台北でも歴史ある媽祖廟（台北大天后宮）の跡地であったことが考えられる。媽祖行列が展覧会会場の新公園を經由してから大稻埕と萬華にある媽祖廟へ向かう<sup>4</sup>ことで、新公園施設建設のために壊したとも言われる大天后宮跡への謝意を台湾人に対して示す目的もあったと考えるのは、深読みし過ぎだろうか。

このように、始政三十年記念展覧会という総督府主催の行事においても、日本芸能か中華系芸能かを問わず催物プログラムに取り上げられていた。

#### 4. 始政三十年記念展覧会ラジオ放送のプログラム

始政三十年記念展覧会では、特筆すべきもう一つの催物が行われた。台湾初となるラジオ放送である。日本では台湾に先立つ一年前の1924年に東京放送局が設

立されてラジオ放送が開始し、次いで大阪放送局も設立した。台湾放送局は、「未だ台湾ではラジオに対する理解に乏しいので通信局では来る十七日の始政三十年記念日に当り一般にラジオ知識の普及を図る目的にて」（『台南新報』1925年6月8日）、展覧会第3会場交通館から実験放送として展覧会会期中の6月17日から十日間行われた。但し、実は15日にも限定的ながら実験放送を行っている。台湾各地に聴取会場が設けられ、台北からの放送に期待が高まったが、電波が安定しておらず台中では放送四日目にしてようやく受信できるなどアクシデントが続いた。

では、当時のラジオプログラムとはどのような内容であったのだろうか。表1は、始政三十年記念のラジオ放送プログラムである。なお、資料の印刷の問題で読解不能な文字は で補った。

一日の放送は基本的に、午前の部（11時15分～、23日以降は10時15分～）と午後の部（2時15分～）と夜の部（7時15分～）の三部構成となっている。午前の部では総督府上官の講演とニュースが、午後の部にはニュースと天気予報が組み込まれているが、それ以外のプログラムはすべて音楽である。また、進行順序も基本的には毎日同じであるが、例えば21日の夜の部は筑前琵琶であったのが22日は薩摩琵琶になるといった変化は確認できる。「レコード」と表記している場合とジャンル名あるいは曲目が示されている場合があるが、氏名が記されている奏者はほとんどにおいて学生などであることからレコードとは考えにくく、よって恐らく後者は実況放送であろう。興味深いのは、6月17日にピアノで出演する張福興<sup>5</sup>である。張は先に述べた、台湾人として初めて東京音楽学校へ公費留学した人物で、1910年に返台後、郷里で活躍した。張のラジオ出演は、日本による台湾統治後の教育政策の成果をアピールする狙いもあったのではないだろうか。

表1からわかるように、音楽ジャンルは展覧会の催物と同様に多種である。ただし、中華系音楽（什音・台湾音楽）は一日一度だけで、それ以外は日本音楽（謡曲・筑前琵琶・三曲・長唄・常磐津・義太夫・尺八・薩摩琵琶）と西洋音楽（ハーモニカ・童謡・ヴァイオリン・ピアノ・奏楽・マンドリン・高音独唱・低音独唱・柴笛が占めている<sup>7</sup>。勿論、ここで言う西洋音楽とは芸術音楽に限定されず、童謡や愛唱歌（の旋律を器楽などで演奏）といった比較的親しみやすいものも含まれているのであるが、そのジャンルや音色の豊富さからも、1925年の時

表1 ラジオプログラム

	ラジオプログラム
6月15日	<p>実験放送            午前9時より午後0時まで 1：童謡（台北師範学校附属小学校生徒） 2：三曲合奏            3：南管（大福塚紳士連） 4：謡曲・高砂長弁慶 5：ピアノ（淡水 ゴールド夫人）            午後1時半より 1：ピアノ（台北師範学校張福興） 2：囃入り謡（小川、笠原氏等）            3：長唄・越後獅子（竹の家連中） 4：柴笛（東郷）</p>
6月17日	<p>午前の部11時15分より 1：レコード 2：講演（伊澤総督）            3：ニュース（台日・電通・大毎）            4：謡曲高砂（弘誓較一、吉見嘉樹、大村武、菅鬼奴太郎、藤田清丸）            午後の部2時15分より 1：レコード 2：ハーモニカ・ダニウブ川の漣（茶谷健次）            3：ニュース 4：柴笛・水郷の歌、白菊（東郷実男） 5：筑前琵琶・台湾入（松本四芳）            6：天気予報            夜の部7時15分より 1：レコード 2：童謡 斉唱・旅鳥、おぼろお月さん（師範学校附属小尋六女）、独唱月の砂漠（同、津谷敏子） 3：ハーモニカ 戦勝の下に、カルメン（台北リードソサイター） 4：筑前琵琶 義士の本懐（永井旭貞、箏：長井旭石） 5：レコード 6：三曲合奏 夕顔（三絃：播磨ツネ子、同：山本句當、尺八：赤木江華）、六ノ一 大内山（箏：坂上ずみ子、同：北里うた子、尺八：上野利勇） 7：萬華紳士什音 8：ヴァイオリンピアノ合奏・トラビヤター（玲瓏会員第一ヴァイオリン：松永千代子、第二ヴァイオリン：小竹長子、ピアノ：張福興）、ヴァイオリン独・ジブシーダンス（松永千代子、伴奏：張福興） 9：長唄越後獅子（唄：則武内...）</p>
6月18日	<p>午前の部11時15分より 1：レコード 2：講演（交通局総長） 3：ニュース（臺日電通大毎）            4：謡曲（田村・吉見嘉樹・笠原健・菅鬼奴太郎・藤田清丸）            午後の部2時15分より 1：レコード            2：ハーモニカ（台北パニアンバンドハーモニカソサイチ、長渡政雄）            3：ニュース 4：柴笛 思ひ出、古郷、サ・オタム・ナイト（東郷実男）            5：奏楽 ウーベルチューヤバクダートの酋長（台北音楽会） 6：天気予報            夜の部（7時15分） 1：レコード 2：童謡 斉唱・海、神様のお手（師範学校附属小尋三女）、            独唱・てれつ坊主（同古岩井貞子） 3：ハーモニカ 舞踏の響（台北リードソサイター）、ダ            ニューブの蓮（興村直二） 4：筑前琵琶 湖水渡（金子旭鏡） 5：レコード 6：三曲合奏            六段之調（琴：北里歌子、同替手：船田菊子、三絃：柴田房子、尺八：中山勇次郎）、琴古流本            曲 鉢返（尺八：妹尾祥子、同：中山勇次郎） 7：台湾音楽 8：ピアノ メニューエット            （洪雅烈）、ユーモレスク（盧秋騰・洪雅烈） 9：常磐津 乗合萬歳（唄：常磐津歳悦、三絃：            梅屋敷内花香、同調子：則武内一雄）</p>
6月19日	<p>午前の部11時15分より 1：レコード 2：講演 3：ニュース 4：謡曲（羽衣）            午後の部2時15分より 1：レコード 2：ハモニカ 3：ニュース 4：レコード 5：奏楽            6：天気予報            夜の部午後7時15分より 1：柴笛 2：童唄 3：ハモニカ 4： 5：レコード            6：三曲合奏 7：台湾音楽 8：ピアノ 9：義太夫</p>
6月20日	<p>午前の部11時15分より 1：レコード 2：ヴィオリン二部合奏 1ニューフラワードダンス、2            プレール（山本麟三、鈴木義男） 3：講演（木下内務局長） 4：ニュース            午後の部2時15分より 1：レコード 2：ハーモニカ レッドローズ（台北パニアンバンドハー            モニカソサイター、長渡正雄） 3：ニュース 4：天気予報            夜の部7時15分より 1：柴笛 1四季の月、2ベニスの船頭小唄、3ベルギーの落人（基隆            東郷実男） 2：童謡 斉唱1岩戸開き、2人買船（師範学校附属小尋五女）、独唱・青葉（倉島            鞠子） 3：ハーモニカ合奏オバーゼアー（台北リードハーモニカソサイター）、独奏・かつぼれ            （興村直二） 4：筑前琵琶 豊太閤（下津浦旭映） 5：レコード 6：三曲合奏摘草（琴：橋            本幸子、同：川上大史導、同：川井大検校、尺八：佐伯揚風） 7：尺八 都山流寒帖（尺八：            森長江雅、同：船田周道） 8：台湾音楽 9：ヴァイオリン 合奏・カルメン（玲瓏会員第一：            栗林源十郎、第二：何梁明、伴奏：張福興）、独奏・ラサンカンテ（小竹長子、伴奏：張福興）            10：長唄 越後獅子（唄：則武内一吾、三絃：杵屋六多恵、同替手：則武内一雄、箏：魚住久助、            小鼓：松本春太郎、大鼓太鼓：望月仙蔵）</p>



6月21日	<p>午前の部11時15分より 1：レコード 2：講演(無線タイムス社社長加島斌分) 3：ニュース 4：ハーモニカ 二部合奏ラ・パロマ(台北パイオレットハーモニカソサイテーター ファスト：佐方智衛夫、セカンド：村上勇、西東喜成) 独奏1 ダンシングインザバーン、2 アメリカンパトロール(佐方智衛夫)</p> <p>午後の部2時15分より 1：レコード 2：ハーモニカ独奏・春雨(台北バニアンバンドハーモニカソサイテーター、森田勇)、蓮華草戦友かもめ(同茶谷健次) 3：ニュース 4：レコード 5：奏楽 ファンタジーカルメン(台北音楽会) 6：天気予報</p> <p>夜の部7時15分 1：柴笛1旅愁、2深川ぶし、3マドロス(基隆 東郷実男) 2：童謡1 斉唱・ひばりの親子(北師附属小尋四男女)、2 独唱・七面鳥さん(同尋六女津谷敬子) 3：ハーモニカ合奏・軍艦行進曲(台北リードソサイテーター)、独奏・ホームスイートホーム(奥村直二)</p> <p>4：筑前琵琶 橋中佐(猪股旭芳) 5：レコード 6：三曲合奏 千鳥の曲(琴：小川政子、同替手：小川小椋校、尺八：水谷玲童)、端唄春雨(三曲合奏：同有志) 7：謡曲 鞍馬天狗(謡：笠原健、大：小川尚義、笛：菅鬼奴太郎、小：吉見嘉樹、大鼓：藤田清丸) 8：マンドリン四合奏1 西班牙狂想曲、2 コンフィデンツァ・アモロソ、3 コルテージュアラブ(台北マニエルクワレット第一マンドリン：鈴木羊一、第二マンドリン：平山亮一、マンダラ：町田治雄、ギター：秋山林策、同：田中長英) 9：長唄 菖蒲浴衣(唄：梅屋敷内百々哉、同：則武内一吾、三絃：梅屋敷内花香、同：則武内一雄)</p>
6月22日	<p>午前の部11時15分より 1：レコード 2：講演ヴァイオリン、独奏、大歌劇、抜粋曲、トラパトン(石田俊成、伴奏：高野清) 3：ニュース 4：謡曲 船弁慶(謡：大村武、大：吉見嘉樹、大鼓：菅鬼奴太郎、小：弘誓較一、笛：藤田清丸)</p> <p>午後の部2時15分より 1：レコード 2：ハーモニカ独奏・カルメン(台北バニアンバンドハーモニカソサイテーター、茶谷健次) 3：ニュース 4：レコード 5：奏楽 ワルツ・ブラバラ(台北音楽会) 6：天気予報</p> <p>夜の部7時15分より 1：レコード 2：童謡 斉唱・肩たたき(北附小尋四女)、独唱・旅鳥(同尋六女津谷敬子) 3：ハーモニカ 独奏1 愉快な鍛冶屋(台北バニアンバンドハーモニカソサイテーター、尻見一)、2 ダンヌーブ河の蓮(茶谷健次) 4：正派薩摩琵琶 台湾入(永山心泉) 5：レコード 6：三曲合奏 鶴之巢籠(琴：播磨ツネ子、三絃：加納句當、胡弓：山本句當)、都之春(琴：松本多喜楽、同：森富美子、三絃：森龍子、尺八：船田周道) 7：台湾音楽 譜 鐘臺、曲碧波王、譜夏串(艇舳雅頌閣) 8：ヴァイオリン合奏・マルタ(玲瓏会員第一：松永千代子、第二：小竹長子、伴奏：張福興)、独奏・ミヌエット(松永千代子、伴奏：張福興) 9：常磐津 乗合萬歳(唄：常磐津歳悦、三絃：梅屋敷内花香、同上調子：則武内一雄)</p>
6月23日	<p>午前の部10時15分より 1：レコード 2：講演(吉岡台北州知事) 3：ニュース 4：独唱・初夏(台北第一高女一年鈴木桃)、ローレライの歌(二年白倉淑)、合唱・溪間の梅、春の思出(二年白倉淑、江熊須恵子)、二部合唱・花(三年今田貞子、今道久子、吉野三和、上野富美子)、ブラームスの子守唄(四年小林千代子、今野しめ子)、菊・子守唄(補習科光石初代) 5：ピアノ タランテラ舞曲、猛騎士(台北第一高女三年北村壽満) 6：ヴァイオリン独奏 1 セレナード、2 ラボット(赤尾寅吉) 7：独唱1 小楠公、2 仏蘭西国歌(赤尾寅吉、伴奏：木戸春一) 8：謡曲 鉢木(謡：弘誓較一、大：笠原健、笛：藤田清丸、小：吉見嘉樹)</p> <p>午後の部2時15分より 1：レコード 2：ニュース 3：ヴァイオリン独奏・歌劇抜粋曲トラパトル(西田俊生、伴奏：高野清) 4：ハーモニカ独奏 キャラバン(台北バニアンバンドハーモニカソサイテーター、田村次郎) 5：天気予報</p> <p>夜の部7時15分より 1：奏楽マーチ 安南王行列(台北音楽会) 2：筑前琵琶 静御前(名越旭帥) 3：ハーモニカ 合奏・プーランゲル將軍(台北リードソサイテーター)、独奏・エスタデアンテイナ(奥村直二) 4：三曲合奏 御國の響(琴替手：林千代江、琴：坂上住子、同：船田菊子、尺八：船田周道)、都山流本曲寒月(尺八：志摩風懐、同：佐伯揚風、同：赤木江華) 5：ヴァイオリン独奏・『タイス』メチテーション、『メロディー』オルフオイス(山本鱗三) 6：ピアノ プレリヨード(洪雅烈)、スパニッシュダンス(盧秋鵬、洪雅烈) 7：義太夫 三勝半七酒屋の段(太夫：竹の家蜂菊、糸：竹本勝玉)、菅原いろは送り(竹本勝玉)</p>

6月24日	<p>午前の部10時15分より 1：レコード 2：ヴァイオリン独奏1マドリガール、2スラブの子守唄(倉島六郎) 3：ニュース 4：独唱1夏の野(台北第二高女三年白倉榮)、2追懐(四年池畑ミヨ子) 5：謡曲 狸々(謡：(謡：大村武、大：吉見嘉樹、小：弘誓教一、太鼓：菅鬼奴太郎、笛：藤田清丸)</p> <p>午後の部2時15分より 1：レコード 2：ニュース 3：奏楽 英国印度遠征(台北音楽会) 4：天気予報 5：ハーモニカ独奏 リベラの船歌(台北バニアンバンドハーモニカソサイテ、森田勇)</p> <p>夜の部7時15分より 1：柴笛1ダンスオリエンタル、2キャラバン、3沙窓晚鐘大湖船(支那楽)伴奏付(基隆 東郷実男) 2：ヴァイオリン二部合奏『マレッチ・パイ・ランタン』セレクション(第一：鈴木義男、第二：山本鱗三)、独奏『ゼ・インファント・パガニニ』ファンタジー(山本鱗三) 3：ハーモニカ 合奏・スペイン小舞曲(台北リードソサイテ)、独奏・トラバトーレ(奥村直二) 4：長唄 楠公(唄：則武内一吾、三絃：杵屋六多恵、同：則武内一雄、笛：魚住久助、小鼓：松本春太郎、大鼓：望月仙蔵、太鼓：竹の家内峰丸) 5：筑前琵琶 吉田松陰(大塚旭海) 6：三曲合奏 亂輪舌(替手)松本多喜楽、琴：森富美子、尺八：中山勇次郎) 端唄・御所草(三曲合奏部有志) 7：ピアノ ワルツ・ファースト(洪雅烈)、ミリタリマーチ(盧秋鵬、洪雅烈) 8：台湾音楽</p>
6月25日	<p>午前の部10時15分より 1：レコード 2：唱歌 合唱・アヴェマリア(静修女学校三年林氏環涼、一年山本敏子) 3：ピアノ連弾 リーヴェルオブザゴプリンス(三年山田富子、三年加藤昌子) 4：ニュース 5：筑前琵琶 沈勇 隆盛(岩見旭彩)</p> <p>午後の部午後2時15分より 1：レコード 2：ニュース 3：奏楽 オスマンパシヤ(台北音楽会) 4：ハーモニカ キャラバン(台北バニアンバンドハーモニカソサイテ、田村次郎) 5：天気予報</p> <p>夜の部7時15分より 1：柴笛1詩吟、2ダンスオリエンタル伴奏付(基隆 東郷実男) 2：童謡・独唱1ダリヤ(台北師範附属小三年古岩井貞子)、2お月さん(同五年堀静子) 3：ハーモニカ 合奏・印度の小酋長(台北リードソサイテ)、独奏・波濤を越えて(同、奥村貞二) 4：正派薩摩琵琶 錦の御旗(五代雅堂) 5：三曲合奏 ままの川(琴：川上大史導、同：山本句當、三絃：川井大検校、尺八：志摩風懐)、向島八景(三絃：中山カヨ子、尺八：中山勇次郎) 6：高音独奏 1トロバトーレ、2晝の夢(三木君子、ヴァイオリン伴奏：倉島六郎、ピアノ伴奏：三木政輔) 7：マンドリン 1プレクトラム...マンドリン讃歌...アマデイ、2ロマンツァとボレロ、3悪魔の歌...狂想曲...サルトリ(台北ムニエルクワルテット第一マンドリン：鈴木羊一、第二マンドリン平山亮一、マンドラ：町田治雄、ギター：秋山林策、ギター：田中長英) 8：義太夫 太功記十段目(大夫：竹の家内峰菊、糸：竹本勝玉)</p>
6月26日	<p>午前の部10時15分より 1：レコード 2：童話 人參取り(塘翠 西岡英夫) 3：ニュース 4：筑前琵琶 五条橋(基隆 梅下旭靖)</p> <p>午後の部2時15分より 1：レコード 2：ニュース 3：奏楽 ワルツ・スパニッシュトリオ(台北音楽会) 4：ハーモニカ独奏 キングカールマーチ(台北バニアンバンドハーモニカソサイティ、茶谷健次) 5：天気予報</p> <p>夜の部7時15分より 1：柴笛1詩吟、2天然の美、3白菊(基隆 東郷実男) 2：童謡 独唱1小雨ふる頃、2こがくれの歌(北師附属小三年芝原ゆり子)、1月の砂漠、2おぼろお月さん(六年津谷敏子) 3：ハーモニカ 合奏・銀の小琴(台北リードソサイティ)、独奏・セビラの理髪師(奥村直二) 4：正派薩摩琵琶 吉野落二段(里見よしえ) 5：三曲合奏 さむしる(琴：日比野豊子、三絃：小川大検校、尺八：水谷玲童)、都山流本曲・若葉(尺八：森長江長、同替手：船田周道) 6：ピアノ独奏(一条慎三郎) 7：低音独唱(同人) 8：マンドリン 1空中の女王...行進曲...ハンニバル、2森林中の舞踏...円舞曲...ワルテル(台北ムニエルクワルテット第一マンドリン：鈴木羊一、第二：平山亮一、マンドラ：町田治雄、ギター：秋山林策、ギター：田中長英)、3独奏・タランテラ...カラーチェ(鈴木羊一) 9：長唄 菖蒲浴衣(唄：梅屋敷内百々哉、唄：則武内一吾、三絃：梅屋敷内花香、同：則武内一雄)</p>

点における西洋音楽の普及度がかなり高かったであろうことが想定できる。

## 5. 『台南新報』にみる1925年6月における芸能の活動状況

以上、始政三十年記念展覧会で行われた芸能についてみてきたが、続けて『台南新報』に掲載された記事から、台湾社会全体における芸能活動の状況を整理し

てみたい。表2は『台南新報』の1925年6月1日から30日までの一ヶ月間の紙面に掲載された、芸能の上演に関する記事を、抜き出したものである。紙面は基本的に12頁で、そのうち5頁目のみ中国語によって書かれた「漢文欄」で、それ以外は日本語である。「漢文欄」には、前日に掲載された日本語による記事をほぼ直訳したもの、すなわち台湾在住者すべてに向けたニュースと、日本語記事にはなかったもの、すなわち台湾人に向けたニュースが含まれる。そのため表2では、「漢文欄」掲載の記事に関しては日付の下に「漢文欄」と記し、内容が日本語記事として前掲の場合は「 / 「…」記事と同じ」と省略して示した。新聞記事の内容を表2の[内容]項に示し、また記事に登場する芸能を[芸能ジャンル]項に挙げて必要に応じて補足を加えた。右端の[備考]項には、記事の内容が始政三十年記念と関わるものである場合に「始政記念」と記した。なお、記事内容が長文の場合、芸能に直接関係のない箇所を「…」と省略した。

表2から分かるように、1925年6月の一ヶ月間に取り上げられた芸能活動の記事は始政記念の行事に関連したものが多く、先述した台北で行われた始政三十年記念展覧会の催物のほか、新竹・台中・台南・嘉義・高雄・海山郡（現在の新北市）・基隆・彰化・宜蘭・澎湖など各地においても主に行政の主催する始政記念の場で芸能が演じられている。また多くの場合、一つの行事で中華系芸能と日本芸能のどちらもプログラムに組み込まれている。これは始政記念関連の行事に限らず、例えば記事「専売局慰安会」（6/6）や「高雄工場慰安 鉄道関係者の」（6/22）に見られるように、官署の催物では日本人と台湾人双方に向けた出し物が準備されている。ここから、1925年の時点では台湾人芸能者の活動が公的な場面でも認められていたことがわかる。

一方、西洋音楽は、政府の公的行事以外では主に学校に関わる場面で行われている。新聞記事中で特筆すべきは、6/24付けで掲載されている「台湾総督府高等農林学校寮歌<sup>6</sup>」の五線譜による楽譜である。実は、この寮歌を新聞紙面に掲載する目的などは一切書かれておらず、作曲者などの詳細もよくわからない。新聞を購読する層はある程度限られているとはいえ、紙面に五線譜を掲載しても読者が理解できるほど識譜率が高かったのだろうか。今後も考察すべき問題である。

なお、[芸能ジャンル]の項目に挙げてある映画（活動写真）について説明を加えておきたい。当時台湾で放映されていた映画は三種あり、一つ目は教育と宣

表2 新聞

日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
1925/06/06	開校記念式 高等商業校の	台北高等商業学校々 会では来る六月十一日は同校開校日に相当するので同日午後八時より南支 洋展覧会午後一時より市内中等学校弁論会を開き午後六時半より高級映画映写し音楽会を催すと	映画・洋楽	
	始政記念展覧会	台北商工会では始政三十年記念展覧会開催につき役員を選任した...催物としてはイルミネーション、舞踊、花火、宝探し、活動写真、仮装行列、支那上海芝居、ラジオ其他各町では種々の余興がある筈	舞踊(日本?)・映画・中国劇・ラジオ	始政記念
	台北始政記念の催物	来る十七日の始政三十年記念日当日台北市では種々の催物を行ふべく...大阪特有の地車を真似て大地車を作り之を消防手の仮装をした七、八歳の小供約八十名を先導に...又は商店側の余興としては娘芝居を新公園にて二十日から二十三日迄毎夜七時から十時過迄行ふ筈である	地車・娘芝居	始政記念
	基隆神社祭典	基隆神社祭典は既報の如く故台北白川宮殿下基隆御占拠をトし...本年から合祭であった媽祖宮祭典を引き離した事とて何かと思はれたが公会堂の能楽には内地から斯界の泰斗多数 り奉納能楽あり...	能楽	
	専売局慰安会	台北専売局第七会 人表彰慰安会は既報の如く六日午前八時より南門工場に於いて表彰式を挙行し九時より古亭庄練兵場に於いて慰安運動会を開催するが同日の余興プログラムとしては一、煙火 二、楽隊 三、台湾芝居 四、相撲 五、陸上競技...	楽隊(洋楽)・台湾劇	
1925/06/07 漢文欄	始政記念展覧会	6/6「始政記念展覧会」記事と同じ	映画・中国劇	始政記念
漢文欄	台北始政記念催物	6/6「始政記念の催物」記事と同じ	女劇	始政記念
漢文欄	玉井分会総会	在郷軍人会玉井分会澤来七日。午後九時。在玉井公学校。...有余興。活動写真...	映画	
	台北市の始政記念日	始政三十年記念日に当たり台北市は商工会を中心として...本日迄決定せるものは台北検査美形連の手踊芝居は当日より三日間新公園の舞台にて催し西門町にては底抜け屋豪を揃いの浴衣にて引き回し少女舞踊及び若衆の踊りは新公園舞台にて行はれ...新公園にて芸姐出演にて藝曲行ひを男の竹音など本島の音楽を音楽を演奏することとなった大稲埕は矢張り三日間十名づつの藝姐を出して音曲をなす筈であるから当日より数日間の台北市内は多数の催物 交響楽 雑然たる歡樂の巷が展開さるであらう	手踊芝居・少女舞踊・若衆踊り・藝姐の藝曲・竹音・音曲・交響楽	始政記念
1925/06/08 漢文欄	専売局慰安状況	6/6「専売局慰安会」記事と同じ	台湾劇 (三伯英台)	
漢文欄	屏東通信 開映画写	屏東公園。去五日夜。由大阪毎日新聞社。屏東取次店主催。公開映画。...	映画	
漢文欄	女優開幕	桃園重興社(原天樂社)台獨一無二之女優也。此番受本街。施永順氏之聘去六日来屏。假屏東座開幕。服色鮮美步武整然。景巧妙就中武生石中玉。尤誇特色武花旦有滿天。尤見禮長。大博觀衆好。...	京調(女班、桃園重興社)	
	台北橋の落成式を十八日に挙行する	既報台北橋の渡初式は来る十八日の午前九時より盛大に挙行するに決定したが...珍しい催物がある筈だが尚地元住民は常日より三日間芝居を行ふことを決定した...	劇	

日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
1925/06/09	台北橋落成式 漢文欄	6/8「台北橋の落成式を十八日に挙行する」記事と同じ	劇	
	新竹特信 祝賀餘聞	六月十七日三十周年始政記念祝賀。並水道興工祝賀。…於當日欲挙行種々余興。現由当局協定矣。即六月十七日。集樂社同文軒兩子弟團。欲登臺獻技。而集樂社劇目日間西岐城大戰。夜間伍顯遊十殿。同文軒日間劇目。即看瓊花。江東橋。夜間石頭記。三官堂。而六月十八日和楽振楽兩子弟團。欲演之劇目。現尚未確定。…又有六月八日。欲到竹開演之上海復順京班。開演以助當日之熱鬧。且現時集樂社。日夜繼續練習妙技又囑託調製布景名人新竹西門林家擇氏。專繪山水風景。以製種々 景。屆時当有一番雅觀也。	北管子弟団 (集樂社、同文軒、和楽軒、振楽軒)	始政記念
1925/06/11	台中の始政祝賀会	台中市役所では九日午後七時より市民室に市協 員町委員 設 員等を集め十七日始政記念日当日の催物に就き種々協調することろあったがその結果午前八時半より十一時半まで幸町グラウンドに於て小公学校連合運動会を開催する事…台中州側ではラジオの放送、本島人側では音楽団の市中行列…	ラジオ・音楽団	始政記念
	台南の始政祝賀会	台南市では始政記念祝賀方法に付き九日午前午後には本島人有志並に各町委員を招集し種々協議した…北門郡阿子の王爺様を迎へることとなり…余興としては既報のとおり人形劇、台湾劇、藝姐歌楽、仮装行列、宝探し、変 探し、活動写真会…	布袋戯・台湾劇・芸妓歌・映画	始政記念
1925/06/12	台南始政祝賀会 漢文欄	6/11「台南の始政祝賀会」記事と同じ	布袋戯(掌中戯)・台湾劇(官音劇)	始政記念
	媽祖定日恭迎	台北大稲埕。為祝始政三十年記念。決定本月十五日。恭請北港、新港、台南彰化、鹿港、閩渡諸媽祖。安座於慈聖宮 本擬十七日午後一時。組織陣頭、意閣、音楽団神像等。作一大交信。巡繞各町。…。	陣頭・意閣・音楽団	始政記念
	蘭陽通信 争賞改決	宜蘭東嶽大帝去舊二月廿八日。執行祭典。…如台北參加音楽団。…。	音楽団	
	嘉義特訊 京班末路	義福連正音京班乃舊鴻福班之易名者自数年前流到台湾。到處巡迴興行。一時甚博 京家好評。因該班伶人妾自尊大。斬為驕傲。演唱愈不認真。 觀者討厭由是人氣次第衰微。又被有…。	京劇(正音京班)	
1925/06/13	活気づく記念日	始政三十年記念祝賀に就いては台南市当局にて種々計画中州当局より市民振興の為に 一千圓の補助を交 されたので昨日商工会及び事業 環 表を招致し 打合せの結果… 台湾人形芝居 十七日より十九日迄毎日午後二時より五時迄第二公学校州主催展覽会場前 台湾芝居 十七日より十九日迄 豪に無料開放午後二時から同六時まで 台湾各種音曲 十七日より十九日迄州廳 市局にて 王爺祭行列 十七日正午より午後十一時迄十八日祭典を西門町良 宮にて行ふ十九日還 … 活動写真 十六日(武廟前)十八日一州廳 十九日西市場二十日一州 横 青年団音楽隊演奏 二十日午後七時 廳前 此の外音曲手踊等も計画されて居るか…	布袋戯(台湾人形芝居)・台湾芝居・台湾音曲・映画・音楽隊・音曲手踊(日舞?)	始政記念
	祝賀映画を	台南州教育課主催の始政三十年記念祝賀映画は来る十八日並に二十日の両日午後七時より州廳横広場に於て大々的に挙行する事に決定し撮影写真も 吹雪外 到着の目新しい物数巻を紹介する由	映画	始政記念
1925/06/14	台南紀念日 漢文欄	6/13「活気づく記念日」記事と同じ	布袋戯(掌中戯)・台湾劇・台湾音曲・写真・音楽隊	始政記念
	祝賀映画	6/13「祝賀映画を」記事と同じ	映画	始政記念

日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
	展覧会余興彙報	始政三十年紀念展覧会。… 十七日新公園。午後一時起。市役所主催市民大祝賀会。同七時起文教課活動写真。音楽演奏。臺 主催之仕掛煙火。檢番藝妓総踊。西門少女手踊。青年手踊。植物園風景及火花。 猛演戯。各街裝飾等。 十八日台北橋開通大祝賀。橋付近淡水河畔煙火。浮船映写電光。使一産大橋 架空中。又是日起約四日間有扒船。子弟戯。新公園則 前夜開演。…。 二十日午後一時。大稻埕媽祖大行列。夜間煙火演戯。新内園則連合売出会之少女芝居。茶商公会弄君唱。活動写真。音楽演奏。…。 廿一日新公園如前開演植物園夜景。台北市大売出之假裝行列。稲艇演戯。…。 廿三日新公園前。加以大稻埕藝妓十名彈唱艇艇是日午後媽祖行列夜間演戯。…。 廿四日新公園。午後六時至七時。艇艇紳士什音。七時至九時支那正音。九時至十時艇艇彈唱。其他活動写真。…。 廿五日新公園如前。催藝妓彈唱。…。 二十六日為最終日。…稲艇兩處 活動写真公開。及本島戯開演。…。	映画・音楽演奏・芸妓総踊・少女手踊・青年手踊・扒龍船・子弟戯・少女芝居・弄君・什音・本島戯	始政記念
	白河通信 梨園盛況	該地方諸士及有志者謀地方發展起見創立一梨園。名曰白河座。招聘對岸馳名俳優接統開演。其中盛況大有可觀。	梨園	
	青年音楽団	自大正元年田林占春施必得及故陳意三氏。…此係地方青年有志於音楽者入会。…。	音楽団	
1925/06/15	映写影戯 漢文欄	支那活動写真、演目は孤兒救祖	中国映画	
	台北橋落成次第 漢文欄	台北橋落成式。十八日午前十時。大橋付近三日間煙火。開演子弟戯。	子弟戯	
	新竹特信 壽備奉祝 漢文欄	新竹街役場當局。來十七日參拾周年始政記念日。盛大祝賀会。当日有種々余興。本島人子弟團集樂社。同文軒。和楽振楽四擡。十七十八兩日開演。上海福順京班。在新竹座戲園登臺献技。	子弟團（集樂社、同文軒、和楽軒、振楽軒）・上海京班（福順）	始政記念
	嘉義特訊 始政記念 漢文欄	六月十七日。世周年始政記念。十五日から三日間。嘉木駅前。午後三時。素人変装。その他兒童相撲。内台演劇。	演劇	始政記念
	地方だより 高雄 提灯行列歌 漢文欄	始政記念日提灯行列進歌（薪録かほるの曲）	提灯行列歌	始政記念
	藝妓手踊には 附き物の紛擾 漢文欄	始政三十週記念当日の催物で唯一の呼物たる台南市内藝妓の手踊は市当局の交渉にてりかけた時、場内姐妓屋から故障が出てお流れになりそうな形勢になり…	芸妓手踊	始政記念
	始政記念日と 提灯行列 漢文欄	高雄市にては十七日の始政世年記念日に奉 へ提灯行列を行…又 催ふし物としては当日 西側び州廳南側空き地の二箇所には舞台を設け夜間各料理店藝妓の手踊あり旗後及にては夜間台湾芝居を行ふと	芸妓手踊・台湾芝居	始政記念
1925/06/16	農業補習学校 漢文欄	新竹竹苗菓郡公館庄。近新設之農業補習学校開校式以月十三日午前十時。…奉誦勸語合唱国歌後。…午後又開公学校兒童唱歌会。三時始歌。	唱歌	
	高雄提灯行列 漢文欄	6/15「始政記念日と提灯行列」記事と同じ	台湾劇	始政記念
	稲江開熱迎祖 媽 漢文欄	台北市大稻埕人士。為祝始政三十年紀念請北港。…每日於慈聖宮開演子弟戯。其行列依鼓舞結果。子弟團盡出。各不惜資金。調製新式旗絨。如 安社。較前準備者、欲再加奮發、以外各社一亦不相讓、各暗中準備。詩意閣即 決定者。約有七十團。其他神体獅陣音楽団等。	子弟戯・獅陣・音楽団	始政記念
	台北展覧会と 余興 十七日より 二十六日まで 漢文欄	6/14「展覧会余興彙報」記事と同じ	娘芝居・少女踊・若衆踊・芸妓手踊・娘芝居・南管絃楽（什音）・支那芝居	始政記念

日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
	新竹街の十七日は	新竹街では始政記念の祝賀に水道起工の祝賀を兼ね...余興として午後二時から倶楽部で内地人素人芝居芸妓手踊、にわか、手品等...	素人芝居 (日本)・芸妓手踊	始政記念
	総督園遊会 台北記念日に	始政記念日当日の総督官邸に於ける園遊会は午後三時から開会され午後四時余興に入り 台湾芝居は孔明 牙蘆 劇 常磐津土 台北券 長唄総 三 盃 台北券 上演せられ...	台湾劇・常磐津・長唄	始政記念
	始政祝賀会 台北に於ける	台北市の始政三十年記念祝賀会は十七日午前十時より...新公園に集まり...君が代の吹奏...	吹奏楽	始政記念
	三曲の合奏を 台南公会堂にて	市内都山流同好者の催しとして十七日夜公会堂にて左の三曲合奏を公開する由 一、若葉 (都山流本曲) ... (奏者名) 二、夕顔 (都山流) 尺八藤井...三絃...箏... 三、千島の曲 (都山流) 尺八...箏...	三曲・三絃・尺八・箏	
	東樓連の芸妓 舞踊	始政記念祝賀並に 売デーの為め遊郭東樓連の舞踊が十八日午後二時半から公会堂後 能舞台で催される其の番組は 長唄 吾妻八景 舞... (名前) 唄...三味線...鳴物 長唄 浦島 舞...唄...三味線...鳴物	長唄・舞・三味線・鳴物	始政記念
1925/06/17 漢文欄	台北展覧会余興	6/16 「台北展覧会と余興」記事と同じ	娘芝居・少女踊・若衆踊・芸妓手踊・娘芝居・南管絃楽 (什音)・支那芝居	始政記念
漢文欄	新竹祝賀始政	6/17 「新竹街の十七日は」記事と同じ	素人芝居 (日本)・芸妓手踊	始政記念
	総督園遊会	始政記念日当日の総督官邸に於ける園遊会は午後三時から開会され午後四時演戯。歌舞、以助余興五時有頃。...	演戯・歌舞	始政記念
	始政祝賀会	台北市の始政三十年記念祝賀会は十七日午前十時より...新公園に集まり...君が代の吹奏...	吹奏楽	始政記念
	海山特訊 土城記念祝賀会	海山郡土城庄。...對於本月十七日。始政三十年紀念奉祝。結局是日午前仮裝執旗行列。並子弟班鼓樂等。...	子弟班	始政記念
	台北のラヂオ 放送 十七日の放送 プログラム	表1 参照	ラジオプログラム	始政記念
	琵琶の演奏会 十七日の曲目	十七日より二十三日 午後七時より武 殿に於て奉祝筑前琵琶演奏会を催す... (演目)	筑前琵琶	
	活動写真映写 博物館前にて	十七日午後七時半より博物館南側空地に於て映写す... (演目)	映画	始政記念
	台南の始政記念日 台南祝賀会と 催物	台南市の記念祝賀会は午前十時から公会堂で... 台湾人形芝居 第二公学校前にて 六月十七日より同十九日迄毎日午後二時より同五時迄 台湾芝居 大舞台にて 六月十七日より同十 日に地迄毎日午後二時より同六時迄 台湾音楽 州廳前西市場にて 六月十七日より同十九日迄毎日午後二時より同六時迄... 青年団音楽 州廳前にて) 六月二十日午後七時 芸妓手踊 公会堂能舞台にて 六月十八日午後二時より同五時迄 三曲 公会堂能舞台にて 六月十 日午後七時より同九時迄	台湾人形芝居・台湾劇・台湾音楽・青年団音楽・芸妓手踊・三曲	始政記念



日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
1925/06/18 漢文欄	台南祝賀会催物	6/17「台南の始政記念日」記事と同じ	台湾人形芝居・台湾劇・台湾音楽・青年団音楽・芸妓手踊・三曲	始政記念
	彰化之祝賀会	彰化郡彰化町。十七日始政三十年祝賀。…又開催余興。由彰化神社建立予定地。昇出神輿。巡遊市街。夜則牽引屋台。到处弾唱。…。	神輿・弾唱	始政記念
	台中通信 新戯開演	如既報広東宜人團男女班。去十六日果到台中。在楽舞台開演。市内各界。莫不蜂擁往觀。殊呈盛况云。	広東宜人男女班	
	台南の始政記念日 州廳前音楽は雨の為に中止	台湾音楽は州廳前児玉壽像の合歡の木繁るのうちに舞台かけをなし愈々十七日より開催する筈であったが前日來の雨のため折角五色鮮やかに色どった舞台も雨の滴がぼたぼたと柱を伝ふ有様に取止めとなり正午過少し模様と為たので舞台の周囲に集する群衆は多かつたが遂に演奏されなかつた	台湾音楽	始政記念
	活動は延期 教育会の映写	雨のため延期	映画	始政記念
	台北の始政記念日 総督官邸の園遊会	危ぶまれていた朝からの天候も午後二時半より晴模様となる園遊会開始の合図…午後四時 端のベランダー前に設けられた余興の幕が開かれて先づ本島人芸者の合奏、孔明出芽蘆を皮切りに台北檢番連の常磐津玉川、及長唄総踊、三重盃が華かに喝采の裡に演ぜられ…	台湾芸妓・常磐津・長唄	始政記念
	台北のラヂオ 十八日放送の分	表1参照	ラジオプログラム	始政記念
	奉納琵琶会 十八日の演奏	十八日台北武徳殿で演奏さるる琵琶曲目及び演奏者は左の通り…	琵琶	
	活動写真は十八日の映写	十八日午後七時半より台北新公園音楽堂に於て映写する活動映画は左の通り…	映画	始政記念
	陸に海に祝賀気分 歡興を湧かした基隆市民 奏楽演奏	基隆に於ける始政三十年記念祝賀は既報の如く十七日挙行されたが…奏楽演奏 同夜七時より九時迄高砂公園に於て基隆音楽会の主催 音楽あり一般市民を集めた	奏楽	始政記念
	本島人芝居	媽祖宮及玉田 各音楽 主催の下に十七日及び十八日 本島人素人芝居を催ふし此処にも人を集めた	本島素人芝居	
	嘉義の始政記念日	嘉義の始政記念日は午前八時から各官街 学校共何れも祝賀式を行ひ九時から公会堂にて街の方面委員発表式あり…二カ所に設けられた掛け舞台の余興は中止し計画を変更し折嘉義座開演中の少女劇を開放したが二時頃か…夜は嘉義の少女劇で人気を博した	少女劇	始政記念
	始政祝賀と水道の	十七日新竹 では始政記念の祝賀に水道起工の祝賀を兼ねて挙行…余興の幕は切つて落とされは八千代の文月、萬作の小品…三つ面、榮久の曾我の菊壽、亭の忠臣蔵五、六段目、料亭合同の戻り籠や総踊り、滑稽道成寺引抜鱒 治等に引続き水道起工に因んだ祝賀踊等…三味線太鼓のはやし騒々しく繰り出して臺銀前に出で東門通りを一直線に左に折れて…	総踊・三味線・太鼓	始政記念
	台中在軍總會	台中在 軍人總會に二十一日午前八時半より台中座に於て開催する…当日は余興として会員の剣術及び活動写真…	映画	
1925/06/19 漢文欄	雨阻催物	始政記念 十七日。晴雨不定。各種催物。除大舞台之台湾戲。全部 延。…。	台湾戲	始政記念
漢文欄	總督官邸園遊会	6/18「總督官邸の園遊会」記事と同じ	本島人芸妓・常磐津・長唄	始政記念



日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
漢文欄	新竹始政與水道祝賀	6/18「始政祝賀と水道の」記事と同じ	総踊・三味線・太鼓	始政記念
漢文欄	菊部消息	桃園重興社女優班。自施永順氏。聘仮屏東。開演以来、人氣 旺大博覧 所共歓迎。至去十六日收幕、獲利頗不 。聞者番欲往旗後開演云々。	桃園重興社女優班	始政記念
漢文欄	新竹特信 学校奉祝	新竹第一公学校。于十七日上午八時。…念日唱歌。…。	唱歌	
漢文欄	余興時刻	本島人子弟團有二擡。 在新竹州廳 野登臺獻技。自下午三時至十二時。上海復順京班。與下午零時至同十二時。其場所即新竹座。內地人素人之居。並手踊仁和加氏变化。…。	子弟團・上海京班(福順)・素人芝居(にわか)	
漢文欄	两会祝賀齊舉	始政記念。竝水道與工祝賀会…余興有手踊、以助熱鬧。…。	手踊	始政記念
漢文欄	觀劇漫評	新竹街集樂社同文軒兩子弟團。於十七日下午三時。在新竹州廳 野之處。均皆熱誠。欲表奉祝 意。其所演劇目於菊部界。尚未開演之 目最多。而集落社日間所開演之西岐拏大戰者。儼然若實。夜間伍 遊十殿。有陰間種々巧妙自動 令人感慨不 。又同文軒日間所演之看瓊花。江東橋兩齣。俱有勇氣。且恍惚当年隨 實事、夜間石頭記。三官堂兩齣。俱愜惠獎善之美。 况兩 此回之服飾 。兼視其 景種々活動機關。稱 團俱有特色。其優劣不分上下矣。不異於唐代梨園 弟矣。	子弟團(集樂社、同文軒)	
	昨日は雨も晴れて書夜の大賑わいを	雨の為に延期された台南市の記念祝賀催物は…二時過から始まった遊郭東樓連の長唄舞踊は多数婦人連を吸引して盛況を治めた州廳前や西市場の台湾音楽それに第二公学校前の人形芝居等何れも本島人を呼んで大舞台の台湾芝居と共に評判が良かった…。	長唄舞踊・台湾音楽・布袋戲(人形芝居)・台湾芝居	始政記念
	活動写真を	台南州教育課主催始政三十年記念日祝賀活動写真は昨十八日午後七時より州廳横広場に開催せらる…	映画	始政記念
	公館の舞ひ	十八日は天気も晴れたので台南公会堂に催される始政記念余興の芸妓手踊を見んとて…	芸妓手踊	始政記念
	台北の祝賀第二日	…二十重の雑踏であった各町よりの競争の催物の仮装行列又はラヂオ放送、か番芸妓、手踊や更に…芸妓の手踊や活動写真に見とれているものもあれば又ラヂオに不思議だ不思議だと首を左右に傾けて…	ラジオ・芸妓手踊・映画	始政記念
	記念日夜の高雄市	…七時 から芸妓の手踊が開始されたので観覧 は し雑踏を呈した又提灯行列は七時州廳前広場に集合し七時半楽隊を先頭に 進歌高唱しながら繰出し…	芸妓手踊・楽隊	始政記念
	台北ラヂオ十九日の放送	表1参照	ラジオプログラム	始政記念
1925/06/20 漢文欄	賽会之盛況	6/19「昨日は雨も晴れて書夜の大賑わいを」記事と同じ	長唄舞踊・台湾音楽・布袋戲(人形芝居)・台湾芝居	始政記念
漢文欄	台北祝賀第二日	6/19「台北の祝賀第二日」記事と同じ	ラジオ・芸妓手踊・映画	始政記念
漢文欄	宜蘭祝賀会	宜蘭於始政三十年記念祝賀。以十七日午前八時。…其他午前十時。男子公学校有学芸会。午後一時。小学校有音楽会。…	音楽会	始政記念
漢文欄	第三交通館一巡	第三会場交通館。…且時演劇於通信乃貯金宣伝之活動写真。以喚起人氣。…	映画	始政記念
漢文欄	北区二大熱鬧	台北市北区大稻埕方面。其台北橋開通大熱鬧。 於去十八日午前十時舉行其余興有日夜各種煙火。及三日間子弟戲。…	子弟戲	

日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
漢文欄	新奇京班傀儡	台北之有劇癖者。此回組織一義和公同往京津聘到新式傀儡。已於十八日搭福建丸入基隆港。新歷二十日在台北新舞台開演。即 傀儡身高三尺余。所演之劇。喜怒哀樂。無不迫。善於 景。及能応用電光。就 又另聘最著名之琴師徐運玉。五指中 操出人顔鳥獸之音。凡所彈之曲譜。如人对唱。聞者無不 嘆。	傀儡戲	
漢文欄	絶妙好劇到臺	好劇有黎俊符民二氏。生於南洋。中華人。…(映画)	映画	
漢文欄	嘉義特訊 祝賀始政	嘉義郡。於去十七日午前九時…下午二時。有遊郭妓女変装。並内臺梨園。…	梨園戲	始政記念
漢文欄	紀念映写	去十七日。…	映画	始政記念
	嘉義 祝賀余興	嘉義 に於ける始政三十年記念祝賀の余興は十七日…午後二時と同七時から晝夜二回に三上洋服店隣、臺銀視点隣の両掛舞台上に於て少女劇一行の手踊があり…	少女劇・手踊	始政記念
	素人芝居	十七日の夜嘉義座に於て開演された祝賀の素人芝居 一番目 白浪五人男 二番目 社会劇 切狂言 曾我対面	素人芝居・社会劇・切狂言	始政記念
	台北のラヂオ 二十日放送分	表1 参照	ラジオプログラム	始政記念
1925/06/21 漢文欄	蘭陽通信 敬老会況	宜蘭青年団敬老会一節。既登前報。去十七日之記念日午後二時 宜蘭街役場会議室挙行首由団長黃再壽氏起 開会礼。…余興即有本島音楽。洋絃嘴琴。女子公学校生徒之独奏等。…。	本島音楽・洋楽・独奏	
	最終の夜の台南市	始政三十年記念日の最終日である十九日は…二十日の晩には州廳前で又活動写真を映し顔る賑かであった	映画	
	台北のラヂオ 二十一日分の	表1 参照	ラジオプログラム	始政記念
1925/06/22	地方だより 芸妓の曲馬総見	基隆花柳界芸妓は目下石碑に興行中の神風曲馬団の総見を十九日午後一時より行った…	曲馬団	
	稲 果空前熱鬧	既報北区人士。祝始政三十年記念。特 北港二媽、台南、新港…可見其满腔熱誠。如音楽団出為承担。只二十団。而雲安社及共樂軒外教社。各私私費。請至七八団。或二 団。故音楽団不下五十餘団。…頗奪目惹人注意者。先摘之如下。一、福州団 裝飾閩江白面女遊船之実景。及人上立人之演戲。…。	音楽団・演戲	始政記念
	艇舩空前賽会	艇舩人士祝三十年記念。特定月二十三日。…準備各詩意閣。又音楽団。陣頭等。…(コンテスト)	音楽団・陣頭	始政記念
	稻江賽会別報	台北北区 祝三十年始政記念。於去二十日恭迎各地媽祖…觀福州団 装之劇。甚有趣味。特留之在庭前歌舞数分間…音楽団五十七八隊。音楽団之中、如雲安社一隊。…(扮装の話)…莫如三仙第一樂福州団所装英台仙伯。及附屬雜劇。…	福州戲・音楽団	始政記念
	台北のラヂオ	表1 参照	ラジオプログラム	始政記念
	教育課の活写	台南州教育課の始政三十年記念祝賀の第二会活動写真映写は二十日午後七時より州廳広場に於て開催されたが非常な觀衆で殊に「櫻吹雪」は喝采を博し盛況裡に十時終了した	映画	始政記念
	高雄工場慰安 鉄道関係者の	高雄市在住の鉄道部 工場、保線倉庫聯合慰安運動会は二十一日午前八時半より西仔灣海水浴場で開かれた前日來の降雨も晴れ亘り好箇の運動日和となった職員家族を合いて七百餘名の多きに達し少年組百米競争から開始されスプーンレース、二人三脚、リレーレース、提灯競争、盲目競争等の陸上競技や五十米、西瓜捕り、水陸徒歩の水上競技を次から次へて開始され一方で内地人余興としと浪花節、浄瑠璃、角力の催し、本島人側では台湾芝居等の催しありて午後五時過ぎ散会した	浪花節・浄瑠璃・台湾芝居	

日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
	新店堤防竣工祝賀	昨年風水害の惨 を被りたる文山郡新店庄では工費十六萬五千円を投じ本年一月以來護岸堤防工事を施行して居たが愈よ去十三日竣工したので同地方民は生命財産の安定を得た喜びに思ひ切った祝賀会を催すべく約一ヶ月に亘り準備を急いで居たが愈急い昨に十一日午前十一時より盛大なる祝賀会が催された...公会堂にて盛大なる祝宴会を開催したが台北検査芸妓十数名と大稲埕芸妓十数名酒間を斡旋し十分の歡を 一午後二時半散会したが此の間余興として本島人のボートレース 抓龍舟あり大喝采を博した其他本島人の催物種々あり...	爬龍舟	
	台東蕃素通り台南はよらぬ	台東 下の蕃人百八十餘名は二十一日嘉義より台南第二聯隊見学の予定なりしも高雄出港の都合上台南通過の事になったので今回はうんと酒を振舞って蕃人踊りを見んと意気込んでいた第二聯隊の將校連は痛く気抜きの体であった	番人踊り	
	送別演奏会と見砂氏の為に	過 来台南州下小公学校教員理化学実験講習会講師として来南中の見砂定資氏は一面東楽流正調追分の師として指南中の処今回愈々内地に歸還するので同好者相寄り二十一日午後一時より驚 閣階上大広間に送別を兼ねた演奏会を催したが出演者は台南同好者を初め嘉義方面よりの来会者もありて非常に盛会を極めた	追分	
	松竹映画三のvari (広告)本夜 エビスザ 発表	連劇 無頭騎手 第三篇四 / 現代劇 山男の恋 五巻 / 俠骨 新門辰五郎 八巻 / 入場料従前通り 壹圓・五十銭・廿五銭	映画	
1925/06/24	台湾總督府高等農林学校寮歌	五線譜掲載	寮歌	
	地方だより澎湖 奉祝歌	始政三十年祝賀会は馬公街で行はれ抓龍船競漕 あり觀衆約六千人当日の奉祝歌左の如し 一 我が 勇の 荒 の 具の 威勢も生贅も 君が御 威冥砂に...	爬龍舟・祝歌	始政記念
1925/06/25	舞台易戯漢文欄	客月来仮演台南市大舞台之桃園清楽社。白話歌劇。至昨日能演。収場往嘉。遂以台北重興社女優繼唱但 期甚促、擬至廿九日止。欲歸台北以為城隍祭典之余興。該團因更聘定上海影片公司之影戲。以俟其廿九日去後三十日繼演聞影戲劇目。為棄鼎、計十巻。頗不遜於前演之蓮花落及大義滅親劇。者番劉鴻鵬張湯蔡祥三人。創立一台南影片公司與上海影片公司連絡以便來臺到處理演云。	歌劇 (桃園清楽社)・映画	
	台北の記念展覧会 二日間延期 二日間の其余興	目下開会中の始政三十年記念展覧会は一般の都合に依り会期を二日間延長したが二十七日二十八日兩日の余興番組左の通り 二十七日午後七時より九時まで 一、支那芝居 二十八日午後七時より九時まで 一、三曲合奏 二、台北州活動写真 二十七日午後九時から十時まで 一、大稲?芸妓音楽 二十八日 同 ...	支那芝居・三曲・映画・芸妓音楽	始政記念
	本日ラヂオ	表1 参照	ラジオプログラム	始政記念
	教育課の活写秩父宮臺臨の	昨報の如く台南州教育課主催、秩父宮殿下室刀御視察状況を納めたフィルムの公開第一日は昨に十四日午後七時半より...州廳横広場に於いて...	映画	
1925/06/26	台北記念展覧延期	6/25「台北の記念展覧会 二日間延期」記事と同じ	支那芝居・三曲・映画・芸妓音楽	始政記念
	漢文欄 萬華媽祖行列	既報台北市萬華方面人士為祝始政三十年記念。奉請北港大媽。安座於龍由寸。二十三日 境。以生花神輿...福州団之竹馬。音楽団。詩意閣。順序進行。当日詩意閣約百閣。音楽団四五十組。...	竹馬・音楽団	始政記念

日付	見出し	内容	芸能ジャンル	備考
漢文欄	稲江城隍祭典	台北市大稲埕。一年一次之霞海城隍祭典。来七月三日。即旧曆五月十三日。香厦 郊 主林合成林士養氏。特邀各頭家及紳商協議。盛大舉行。現盛行準備。聞音樂團及藝閣。...	音楽団・芸閣	
漢文欄	南区賽会別振	台北南署管内。本島人一部。為祝三十年始政紀念。迎各地媽祖大賽會之事 登別報...各陣頭自正午陸續集會於龍山寺前。...佳旗鼓雄雌尙可退避於各軒下。...各子弟團皆大奮發...	子弟団	始政記念
	本日のラヂオ	表1 参照	ラジオプログラム	始政記念
	伽羅千代萩上演 本日より高雄劇場(広告)	おなじみの福三郎信治一行 竹の間より解決まで全通し	芝居(日本)	
1925/06/28	地方だより 嘉義 納涼儀 大会	嘉義の延壽運は二十七日夜嘉義座に於て納涼素人浄瑠璃大会を開演したがいさみの菜の葉、金盛の竹丸などデン芸者が加わって居た事とて却々の盛況であった	浄瑠璃	
	地方だより 基隆 唱歌演 習会	基隆第一公学校は二十七日午前九時半より第六回唱歌演習会を同校内に於て開催と決定せるが曲目は斉唱表情賞か独唱二重唱三重唱にて二十七種目に分け同校独特のものである	唱歌	
1925/06/29	台北萬華媽祖 行列	廿三日途中から豪雨に妨げられた萬華の媽祖行列は記念の最終日である廿八日賑々しく行はれた行列の催し物は左の如く...一、乘馬六頭...四、九曲黄河仁取三 八臺 五、北管全陣 ...八、孔明 孟獲八臺 ... 十、花亭唐明 游月宮 十一、西洋音楽隊二十四組 ...午前八時迄に龍山寺前の広場に集合し九時に打ち上げられた	北管・陣頭・西洋音楽隊	始政記念
1925/06/30	地方だより 南投 学芸会	草屯公学校は二十五日午前九時半より同校講堂で本学年第一学期の児童学芸会を開催した校長の開会の辞ありて唱歌会話算術理科童謡学校劇等二十四番を演ぜられた六年の何国構外十数名の木隠れの歌は 馬旅行の快遊を謡ったもので最も壮烈であった中頃には全校職員の浦のあけ暮れが合唱されたがピアノと合わせぬ節もあって只基督教の讃美歌を承はって居ると同じ様であった本年南師を卒業したピアノの妙手洪江河君が碧 国校から参観に来て居たが常田校長の所望でクシコスボストの快遊の状態紅燈祭の花やかな処胡蝶の曲の優しき処軍艦マーチの壮烈な処を極めて鮮やかな指の きで聞かされたが...	唱歌・童謡・合唱・ピアノ	

撫を目的とした国策映画、二つ目に娯楽としての日本映画、三つ目に同じく娯楽としての中華映画、である。それぞれの目的や対象が異なるとはいえ、聴覚的な側面から言えばいずれにしてもまだ無声映画で、上映の際は弁士と伴奏楽団または伴奏用レコードが必須だった。新聞記事では伴奏にどのような音が用いられていたのか量る事ができないが、映画音楽もまた、おそらく大衆にとって最も距離の近い音楽の一つであったはずである。社会でどのような芸能や音楽が享受されていたのかを考える時に、映画の伴奏音楽もまた、見逃すことのできない問題である。

おわりに

本稿では1925年6月の一ヶ月の間『台南新報』に掲載された芸能活動の記事から、当時台湾で享受されていた芸能の活動状況を見てきた。当時は始政三十年という記念月間でもあり、台湾総督府の本庁所在地である台北ほか全台各地で様々な催物が行われたが、日本・中華・西洋の芸能が共存したプログラム構成であった。また、西洋音楽はとくに学校行事の中で、台湾劇などの中華系芸能が興行や行事の余興として日常的に演じられていた。西洋音楽や中華系芸能の積極的な取り組みには、日本による台湾統治以降の教育成果を披露するという目的や、台湾文化を尊重する姿勢を見せることによって台湾人の反日感情を和らげようとする意図があったことは疑いの無い事実だろう。しかし、そのような意図があったにせよ、1937年の日中戦争勃発以前には多様な芸能文化が緩やかに同居した時代があり、それが後に多元性を特徴とする台湾文化を生んだ一つの要因ともなったのではないだろうか。

## 追記

本稿は、2012年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「戦前の沖縄本島・八重山諸島・台湾のラジオ音楽番組における洋楽受容と郷土意識の形成（課題番号：24652038、代表：三島わかな）」の分担研究の成果の一部である。

## 注

- 1 国策記録映画『南進台湾』（1939）の冒頭ナレーションより。「光強固なる北房の一線を画し、更に南に産業と経済の生活線を開いてゆかねばなりません。こうした場合、我々



写真1 台湾総督府高等農林学校寮歌

の前に重要な地位をしむるものは何でありましょう。即ち台湾であります。帝国が南に伸びる為の礎石とも言うべき、台湾の存在を深く再認識せねばなりません。我々は南方に延びる第一過程として、まず近代台湾に就いて知るところがなくてはならないのであります。」

- 2 台北帝国大学による原住民歌謡の録音 (1937)、黒沢隆朝による高砂族音楽調査 (1943)。
- 3 前掲の『南進台湾』(1939) など。現在、国立台湾歴史博物館によってまとめられたDVD集『片格轉動間的台湾顯影』(2008)で幾つかの作品を観ることができる。
- 4 媽祖行列のルートは次のとおり。萬華：龍山寺前 庄旧国道に出て 興街草店尾街 媽祖祀廟前 町西門町 醉郷前 図書館前 法院軍司令部前 三線道路 第一高等女子校 総督庁舎総督官邸 赤十字社前 州廳前 勸業銀行 京町三丁目 大和町三丁目 末広町三丁目 元園町緑市場前 萬華駅前練習場 八甲町老松公学校 龍山寺
- 5 台湾苗栗出身、1888～1954、返台後、台湾における西洋音楽普及と後進の育成、および台湾原住民音楽研究に多大な影響を与えた。
- 6 1919年に台湾総督府農林専門学校として設立、1922年に台湾総督府高等農林学校に改名。さらに1927年に台湾総督府台北高等農林学校と改名した後、1928年に台北帝国大学附属農林専門部となった。
- 7 新聞には原住民による生演奏も行われたことを紹介した記事も確認できるが(「昨日は劈頭蕃人の放送」『台湾日日新報』1922年6月25日五頁)、ラジオプログラムには記されていない。

## 参考文献

- 呉青霞編『台南新報(復刻版)』臺南：国立台湾歴史博物館、台南市立図書館、2009。
- 柯佳文「日治時期官方對廣播媒體的運用」台北：淡江大学歴史学研究所修士論文、2005。
- 林旻諠「日治時期台湾西式音楽之殖民現代性探索」台北：国立台北芸術大学文化資源学院 芸術行政與管理研究所修士論文、2009。
- 台湾総督府『最近の台湾：始政三十年記念』台北：台湾総督府、1925。
- 台湾日日新報社『台湾日日新報(マイクロフィルム版)』ゆまに書房、1995-1998。
- 鄭任智「日本の台湾領有時代における映画の諸相 - 郷土教育の視点から -」早稲田大学大学院教育学研究科紀要(別冊)14-2、pp.105-115、2007。